

令和7年度東京都自立支援協議会セミナーの開催報告

1 開催概要

- (1) 日時 令和7年12月12日(金曜日)午後1時20分から午後4時5分
 (2) 会場 東京都庁第一本庁舎5階大会議場
 (3) 参加者 会場参加 178名(うち都協議会関係者35名)
 動画視聴申込 429名
 (配信期間:令和7年12月25日~令和8年1月15日(手話・字幕対応))
 動画視聴数 ※()内は手話版の視聴数再掲
 開会挨拶 276(8)、基調講演 389(5)、パネルディスカッション 334(2)

2 目的

障害者総合支援法等における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、東京都自立支援協議会本会議での検討等を踏まえた講演及びパネルディスカッションを実施することにより、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

3 プログラム

【基調講演】

「相談支援の現在地とこれから~当事者の“こう暮らしたい”に寄り添う地域づくりを目指して~」

福岡 寿氏 (特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 名誉顧問)

【パネルディスカッション】

パネリスト 当事者 高橋 薫氏

(豊島区障害者地域支援協議会委員、前東京都自立支援協議会委員)

支援者 藤井 亘氏 (特定非営利活動法人 クローバー 理事長)

当事者 富士根氏(仮名)

支援者 中村 美幸氏 (中野区南部すこやか障害者相談支援事業所)

コメンテーター 福岡 寿氏 コーディネーター 石渡 和実氏 (都協議会会長)

4 参加者属性及び満足度(アンケート回収数:会場参加129、動画視聴107)

(1) 参加回数

	初参加	2回目	3回目以上
会場参加	65%	11%	23%
動画視聴	72%	12%	16%

(2) 属性

	相談支援事業所	行政	協議会委員等関係者	当事者家族	当事者本人
会場参加	40%	13%	11%	12%	2%
動画視聴	49%	13%	7%	11%	4%

(3) 地域

	区部	市部	町村部	他道府県
会場参加	62%	36%	0%	2%
動画視聴	39%	50%	2%	9%

(4) セミナー情報入手経路・媒体

	都センター	区市町村	関係団体	協議会 委員	HP	チラシ (紙)	メール (データ)
会場参加	39%	27%	11%	17%	2%	32%	40%
動画視聴	56%	22%	10%	10%	7%	37%	67%

(5) 満足度

	運営	基調講演	パネ ルディスカ ッション
会場参加	84%	90%	94%
動画視聴	83%	88%	80%

※運営の満足度は、会場参加の場合「受付・案内」について「スムーズだった」と評価した割合。動画視聴の場合「配信の音声・映像」が「非常に良好」「良好」と評価した割合

※基調講演とパネルディスカッションの満足度は、「非常に参考になった」「参考になった」と評価した割合

5 参加者の声

(1) 基調講演

講師の話がユーモアに富み、支援の本質を伝えていた、支援者の率直な経験が業務を振り返る機会となり、意識改革につながった等の声が多くあった。一方で、具体的な実践例や若手講師の登壇を望む声も見られた。

(2) パネルディスカッション

当事者と支援者双方のリアルな声が温かく伝わり、非常に参考になった等、当事者の生の声を直接聞けたことが高評価を受けた。一方で、質疑応答中心でディスカッション性が弱かったとの指摘もあった。

(3) 会場・運営

案内や受付対応がスムーズで、合理的配慮も徹底されていると評価された。空調や机の設置など設備面での改善要望はあげられた。パネリストによる待ち時間中のマリンバ演奏が好評であった。

6 要望の多かった今後聞いてみたいテーマ

- (1) 地域生活支援の深化：地域共生社会の実現、重度障害者・高齢移行者への支援、地域事例紹介
- (2) 制度・支援機関の連携強化：制度や地域間の連携、横断的ネットワーク構築への期待
- (3) 人材育成・当事者の声の活用：次世代支援者育成、当事者発信の場づくり、当事者参加型プログラムへのニーズ

7 総括と今後の展望

- ・参加者の多くは現場の専門職で、新規参加者が約3分の2を占めた。
- ・東京都内全域及び都外からも参加があり、多様な視点から意見・要望が寄せられた。
- ・セミナー内容・運営ともに高い満足度を記録した。次回は実践的な地域事例紹介、分野連携、参加型プログラムの導入が期待される。